

国語科学習指導案(二次案) 2 学年

単元名『おおきなあれ』

平成 30 年 8 月 24 日(金) 第 1 校時
授業会場 2 年東組教室
2 年東組 男子 17 名 女子 19 名 計 36 名
指導教官
授業者

1 本時の位置 (全 2 時間扱い中の第 1 時)

次時:好きなところのよさが伝わるように、グループで音読し、友の音読について感想を交流する。

2 本時の主眼

「おおきなあれ」の詩を読んでおもしろいと感じた子どもたちが、詩のおもしろさが伝わるように読んでみる場面で、「ぶるんぶるんちゅるん」の言い方を変えてみたり、「ブドウ」のときと「リンゴ」のときで読み方を変えてみたりしながら音読することを通して、詩の良さが伝わるように音読をすることを楽しむことができる。

3 指導上の留意点

- ・児童が、アイデアをすぐに書き留めることができるように、詩を大きく書いたワークシートを作成・配布する。

4 本時の展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	時間	指導・援助と評価
導入	1 詩を全員で音読する。	・短い詩だなあ。 ・「ぶるんぶるんちゅるん」の部分がおもしろい。	10	○詩の構成を理解したり、語感のおもしろさに気づいたりする事ができるように、何度も繰り返し読む。
	2 詩を読んでみて気づいたことを言い合う。	・「ぶるんぶるんちゅるん」が何度も出てくる。 ・似ている詩が2回繰り返されている。 ・何度も出てくる「ぶるんぶるんちゅるん」の部分の読み方を変えてみたらおもしろそうだなあ。 ・1回目の「ブドウ」と、2回目の「リンゴ」で読み方を変えてみたら楽しく読めそう。	5	○感じたおもしろさを友と共有できるように、構成・語感について出た言葉を取り上げ、板書する。 ○語感についてのおもしろさ、構成についてのおもしろさの両方に気づくことができるように助言する。 「この詩はいくつのまとまりに分かれているかなあ？」 「『ぶるんぶるんちゅるん』って聞いたことのない表現だけど、どう感じますか？」
展開	学習問題 詩のおもしろさが伝わるように読んでみよう。			
	3 どんな風に読んだら詩のおもしろさが伝わるか考え、ワークシートに記入する。	・「ぶるんぶるんちゅるん」がたくさん出てくるからいろいろな読み方をためてみよう。 ・どんな風に読んだら聞いている人が楽しいと思えるかな。 ・ただ読んでいるだけのときよりも楽しく読めるなあ。	15	○気づきをすぐに目で見分ける形にするために、ワークシートを配布する。 ○なかなか思いつかないときにもイメージを持ちやすくするために、机間指導と一人一人への声掛けをする。 「例えば『ブドウ』と『リンゴ』の感じによって読み方を変えてみたらどうだろう？」 「『ぶるんぶるんちゅるん』の言い方にはどんな違いを出せると思いますか？」
まとめ	学習課題 「ぶるんぶるんちゅるん」の言い方を変えてみたり、「ブドウ」のときと「リンゴ」のときで読み方を変えてみたりしたらよさそうだ。			
	4 自分なりの読み方をみんなの前で発表する。	・発表して自分のやりたかったことが伝わると嬉しいなあ。 ・ただ読むだけだと詩の良さが全く分らなかったけど、いろいろな読み方を考えて自分なりに読むことでこの詩のどういう所がおもしろいのが分かった。	10	○友の工夫とその理由を理解できるように、読んだ児童のワークシートをスクリーンに提示する。 評価：詩の良さが伝わるように音読をすることを楽しむことができるようになっている。 ・発表の様子、ワークシートから。
	5 本時の追究を振	・詩の良さを味わうことができた。	5	○構成や語感の双方の楽しさがあり、

	り返る。	・この詩がどういうことを意味しているのかも知ってみたい。	それらは読み方次第で伝えることができるということを理解できるように、児童の発言からまとめができるようにする。
--	-------------	-------------------------------------	---

【板書計画】

